

地域資源～「菊炭」を活かした伝統文化と次世代に伝える活動・展開

NPO法人 シニア自然大学校 理事 ○堤 正克
菊炭クラブ 代表 高木 一宇

1. 活動方針・目的

- ① H16年8月に菊炭プロジェクト設立（大阪府助成金）目的；**「伝統文化・茶の湯炭」を絶やさないと「後継者育成」を掲げて運動を展開。**
- ② H16年9月 第1回菊炭体験講座(12回シリーズ) 開講
- ③ H17年10月 菊炭クラブ設立 (20人で活動を開始)

2. 活動内容（H23年度は45人で活動をしています）

- ① 池田炭の生産技術の継承と菊炭生産の継続（道具炭の販売 等）
- ② クヌギ里山林の整備・炭焼（39回）& クヌギの森づくり（11回）
- ③ 菊炭体験講座の開講と後継者を育てる活動（6回講座 全12回）
- ④ 里山体験学習の開催（小学生向け）（4校）& 池田炭見学会（地域の市民）（1回）（それ以外に池田炭加工処で菊炭加工品開発を15人で活動）
- ⑤ その間 後継者候補 2人(30代)程度出ましたが残念ながら長続きしませんでした。その後「グループ」で「池田炭を護る運動」に転換して来ました。4年前には下西名人の門下生として「下西窯」を護ってきました。
- ⑥ もう一つは里山を「**次世代に伝える運動**」を小学生に里山体験学習として大阪府の支援を受けて5年間活動を積極的に展開して来ました。

3. 他の活動団体の参考となる事例

- ① 後継者育成は現代社会では個人では難しいので「グループ」で活動する方向転換しました。勿論個人が来れば支援することにはしています。
- ② 菊炭生産は毎年講座2回、菊炭クラブ5回で合計7回炭焼実施。この売り上げで菊炭クラブの「**交通費**」の支払いをしている。又参加者の修了生を菊炭クラブに参加をお願いして、「**運動の拡大**」を図っている。
- ③ 里山体験学習を小学生に「**伝える体験学習**」を積極的に展開している。効果は体験学習として評価は高い。

4. 今後の課題等

- ① クヌギ里山林の整備拡大（萌芽更新）及び 森づくり（クヌギの実生育苗）活動を次世代に伝える運動として持続的に展開する。
- ② 小学生向けに「里山体験学習」として更に拡大していきたい。
- ③ 一般市民に「池田炭」と「里山森林セラピー」をPRし、パワースポットとして市民の参加を呼びみたい。

以上



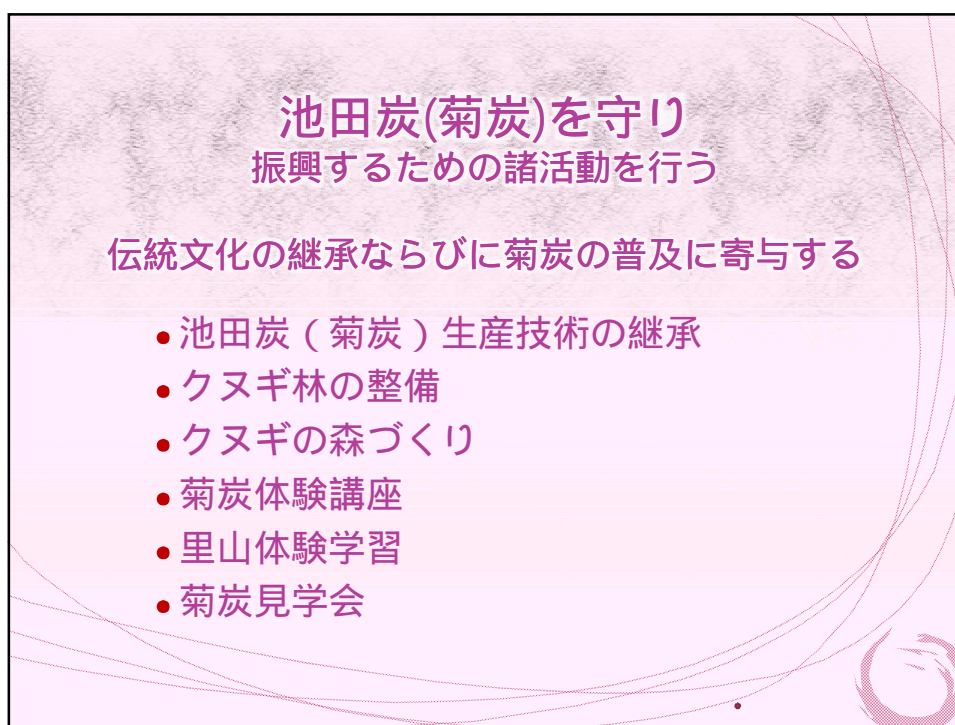
里山の保全

きくずみ

菊炭

NPO法人シニア自然大学校
菊炭クラブ

設立 平成17年3月



池田炭(菊炭)を守り 振興するための諸活動を行う

伝統文化の継承ならびに菊炭の普及に寄与する

- 池田炭(菊炭)生産技術の継承
- クヌギ林の整備
- クヌギの森づくり
- 菊炭体験講座
- 里山体験学習
- 菊炭見学会

池田炭（菊炭）の生産技術の継承



池田炭（菊炭）の生産技術の継承



池田炭（菊炭）の生産技術の継承



クヌギ林の整備

- 下草刈りなど（能勢、豊能町）



クヌギの森づくり

- クヌギ苗木の植栽(中田尻等)



クヌギ植樹イベント

菊炭体験講座

- 菊炭の啓発、菊炭クラブ会員確保



菊炭体験講座 炭焼き体験
原木の窯入れ



菊炭体験講座 原木づくり体験
クヌギ伐採

菊炭体験講座



里山体験学習

- 小中学生対象、緑の啓発活動



里山体験学習
下草刈り



里山体験学習
里山講話



里山体験学習
丸太切り(ヒノキ)



里山体験学習



菊炭見学会



菊炭見学会

- 各地域の小学生、市民への啓発活動

